

平成 28 年 4 月 11 日

株式会社サンフレッチェ広島
代表取締役会長 久保 允 様

広島県知事 湯崎 英彦
(地域政策局都市圏魅力づくり推進課)
広島市長 松井 一實
(市民局文化スポーツ部スポーツ振興課)
広島商工会議所会頭 深山 英樹
(産業・地域振興部地域振興チーム)

平成 28 年 4 月 1 日付け書簡「湯崎広島県知事・松井広島市長・深山広島商工会議所会頭との面談開催について再度のお願い」に関する回答について

御社から 4 月 4 日に受領した書簡において、スタジアム建設に関わる議論の速やかで建設的な展開を望まれていることにつきましては、我々も思いを同じくするものです。旧広島市民球場跡地は、これからの広島の都市づくりにとって非常に重要な場所であり、活用方策を早期に決定する必要があると考えています。

そのためにも 4 者会談は是非とも成功させたいと考えておりますが、その会談を建設的なものとするためには、4 者が共通の情報を持った上で議論していく必要があるという考えに変わりはありません。

そのうえで、3 月 8 日付けで作業部会から依頼した確認事項 1 に対するご回答の必要性は、3 月 18 日付け（久保会長宛て）、3 月 24 日付け（織田社長宛て）、3 月 29 日付け（久保会長宛て）において、これまでも繰り返しお答えしているところですが、「今後の議論にどのように活かしていくお考えなのか」というご質問に、次のとおり回答させていただきます。

私どもとしては、検討協議会の提言（広島に相応しいサッカースタジアムの建設）を前提とした上で、久保会長から 3 月 3 日に発表されたスタジアム建設プランについても、作業部会においてこれまで検討してきた内容と、それぞれの案を公表し、公平な検討を行っていきたいと考えています。

例えば、国有地であり都市公園法上の公園となっている旧広島市民球場跡地は、周辺建築物も含め一定の制約があるため、これらをどのように取り扱うのか、具体的な考え方を提供していただいて始めて、4者会談の議論が噛み合い、意義あるものになると考えています。こうしたことから、まずは確認事項1に対する回答を頂き、実現可能性の検証に向け、事務的な課題の整理等を行わなければならないもの（注）と考えています。

なお、作業部会が行いました旧広島市民球場跡地と広島みなと公園における実現可能性検証内容につきましては、平成28年2月19日に記者発表を行い、平成28年3月8日には作業部会からサンフレッチェ広島の担当者へのご説明を行いました。また、交通課題の解決策に関する検討結果については、平成28年2月16日に公表を行い、平成28年3月8日には作業部会からサンフレッチェ広島の担当者へのご説明を行いました。その際にも申し上げたとおり、疑問点等があれば、情報提供を行うなど、誠実に対応させていただく所存ですので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

今後とも、御社との合意形成に向けた努力を行いたい所存ですので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

（注）実現可能性の検証に向け、事務的な課題の整理等を行う場合の今後の進め方の例としては、別紙のようなものが考えられます。

今後の進め方（例）

作業部会によるサッカー
スタジアムに係る事業の
実現可能性調査の詳細公
表、サンフレッチェ広島
への情報提供（4月中旬）

確認事項1についてサン
フレッチェ広島から作業
部会への回答



サンフレッチェ広島担当者と作業部会との
事務的な確認、意見交換を毎週開催
（3～4回程度）



4者会談（久保会長、県知事、市長、商工会議所会頭）